

まちら まむ 式典

したものをご掲載します。

旧東部町閉町式典

とき 平成16年3月26日
ところ 東部町文化会館
参加者 約500名

さよなら東部町、ありがとう東部町

東部町閉町式典次第

- I部 閉町式典
開式のことば
町長あいさつ
議会議長あいさつ
東部町48年の歩み
(スライド)
来賓祝辞
閉式のことば
- II部 東部中学校吹奏楽部・
合唱部演奏会
吹奏楽部
「サクソフォーン 5重奏
のためのセカンド・バトル」
「鳥たちの神話」
合唱部 「ふるさと」合唱



▲「ふるさと」を合唱し式典が閉じられた
式辞をのべる土屋哲男前町長



東部町は、南面の緩やかな傾斜地に立地し、「ひだまりの町」として、今日まで限らない発展を続けてきました。これも町の発展にご尽力をいただいた先人の皆様をはじめ、関係者皆様の並々ならぬ、ご指導、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。東部町の歴史を顧みますと、昭和31年9月20日、田中町、津村、和村が合併し東部町が発足しました。昭和33年4月1日には滋野村との合併が行われましたが、滋野村民の中に小諸市との合併を望む声

が根強くあり、分町を問う住民投票の結果、翌年に滋野村の井子、糠地、芝生田が小諸市に分町する結果となりました。以来、町民の皆様は、東部町を愛し、町民であることに限りない誇りを持ちながら、住みよい町づくりを目指して努力を重ねて参りました。

その結果、東部町は生活環境の整備や産業の振興を始め、あらゆる分野において今日のような繁栄を見ることができたのであります。

真の地方分権を確立するためには、社会情勢の変化に対応し、様々な分野における新しい課題に対処して、自らの責任と判断で解決していかなければなりません。地域が一体となることにより行政体制や財政基盤を充実強化し、様々な分野で質の高い行政サービスを向上させることが急務となり、合併こそがその最大の解決策であると思います。

東御市の誕生は、大変喜ばしいことですが、半世紀に亘る長い歴史と伝統のもとで、町民が一つになって作り上げてきた東部町を閉じることに限りない寂しさ、言葉には言い表しがたい様々な思いが去来し、万感胸にせまる思いがいたします。

私たちが今日まで護り育んできたふるさと東部町の豊かな



町旗降納



48年の歩みをスライドで振り返る



「思い出の東部町」写真展も同時開催

自然、山の姿も川の流れも永遠のものであります。

私たちは、いつまでもふるさとを大切にすることを心を持ち、これからは「東御市」のために皆で力を合わせて素晴らしいまちづくりをしてゆこうではありませんか。それが、この偉大な東部町を築きあげてくれた先人の労に報いる私たちの責任であると思います。

おわりに大勢の皆様方のご健勝とご活躍をお祈りいたします。